

令和4年第4回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	5	加川康子	<p>1 教育大綱改訂に向けた今後の取組について</p> <p>(1) 現行の教育大綱は令和4年度までであり、改訂時期を迎えている。教育は人づくりであり、まちづくりにつながるものだが、その教育の根幹となる教育大綱はさらに実効性のあるものとして改訂が求められると考える。そこで、以下を問う</p> <p>ア どのようなプロセスを経て教育大綱を策定したのか。また、今後どのように改訂していく予定か</p> <p>イ これまでの取組において見えてきた課題を今後どのように改訂を行なっていく予定か</p> <p>2 学校の施設整備について</p> <p>(1) 学校トイレの改修（洋式化，乾式化）は，児童生徒が心身ともに健やかに学習，生活するための環境整備として，また感染症対策，避難所機能の観点からも重要であると考えことから，現在の整備状況，今後の改修予定を問う</p> <p>3 男女共同参画の今後の取組について</p> <p>(1) 少子化，高齢化が進み，急速に変化する時代において，固定的な意識や慣行を見直し，性別に関わらず個性と能力を発揮できる男女共同参画参画社会の実現は急務であり，引き続き推し進めていく必要があると考える。先般報告された第3次大崎市男女共同参画推進基本計画アクションプラン（令和3年度事業進捗状況調査書）を踏まえ，以下を問う。</p> <p>ア 多様な視点で議論が必要となる審議会等において，さらに女性登用を促進するための方策をどのように検討しているか</p> <p>イ 男女共同参画の推進には性別役割分担意識の解消が必要だが，その解消に向け今後どのように取り組んでいく予定か</p>
2	16	鎌内つぎ子	<p>1 物価高騰対策（市民生活，医療，福祉施設）について</p> <p>(1) 医療機関の負担軽減について</p> <p>(2) 原油価格や物価の高騰対策について</p> <p>(3) 保育園や福祉施設への光熱費等の助成について</p> <p>2 インフルエンザと新型コロナ同時流行防止対策について</p> <p>(1) 65歳以上の接種費用（自己負担額）2,000円の軽減について</p> <p>(2) 子どものインフルエンザワクチン接種を今後も継続して無料にできないか</p> <p>(3) インフルエンザとの同時流行に備え，日曜祝日や年末年始の医療体制強化について</p> <p>3 内水被害防止対策について</p> <p>(1) 古川李塚地区のいちょう通り周辺地域から李塚排水機場に排水する水路整備について</p> <p>(2) 福浦から李塚東までの内水を古川中島排水樋管から</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	25	小沢和悦	<p>新江合川に強制排水する体制整備について</p> <p>1 学校給食費無料化の実現について</p> <p>(1) 本年 10 月 7 日の参議院本会議での答弁で総理大臣が「学校給食費の無償化については、学校の設置者である自治体において実施いただくようお願いしたい」旨述べていることについて、どのように受け止めているか</p> <p>(2) 栗原、富谷両市が来年度から学校給食無料化を実施する予定だが、大崎市でも実現したいと思わないか</p> <p>2 若者の大崎市への移住定住を促進する奨学金返還支援制度の創設について</p> <p>(1) 地元企業等の人材難への有効な対策として奨学金返還支援制度の創設が必要ではないか</p> <p>(2) 姉妹都市の宇和島市を先進地の一つとして紹介したが、聞き取り調査等は行ったのか</p> <p>3 現市役所庁舎前庭の歴史的遺産の保存について</p> <p>(1) 保存する価値がある歴史的遺産という認識はお持ちか</p> <p>(2) 保存する計画になっているか</p>
4	19	遊佐辰雄	<p>1 再生可能エネルギーの推進について</p> <p>(1) 再生可能エネルギーの拡大は不可欠であると思うが、大崎市として今後どう推進していくのか</p> <p>2 物価高騰に対する支援策と、大崎市の基幹産業である農業政策について</p> <p>(1) 全ての業者や世帯に対する市独自の支援策を講じるべきではないか</p> <p>(2) このままでは、特に中山間地域では農業が継続できなくなり、耕作放棄地の拡大が懸念される。国で家族農業に対する様々な支援策をしない限り継続は困難であり、食料自給率も上がらないと考えるが、国に対し強く要望するとともに、市独自の支援策を真剣に講じるべきではないか</p> <p>3 インボイス制度の導入に対する反対表明について</p> <p>(1) 令和 5 年 10 月 1 日からのインボイス制度の実施に向け、去年の 10 月 1 日からインボイス発行事業者の登録申請が開始されている。消費税の免税業者を商取引から排除しかねないこの制度は、農業者やフリーランスも含めた全国 500 万もの小規模事業者や、70 万人弱のシルバー人材センター登録者が取引先や元請、業務委託先から取引を断られたり、値引きや単価の引き下げを求められる可能性がある。また、課税業者になるよう要求されるなど経営状況は一段と厳しくなると考える。よって、市長はコロナ禍の最中において、このインボイス制度導入に反対を表明すべきではないか、所見を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	1	藤本勘寿	<p>1 デジタル技術の活用について</p> <p>(1) プレミアム電子商品券発行事業の現時点での反省と、本事業を通して得られた知見を次年度以降どう生かしていくのか、現状での検討状況を伺う</p> <p>(2) 地域内での資金還流のためにデジタル地域通貨は、有用な手段と考える。導入検討について所見を伺う</p> <p>(3) 市政情報、観光情報、子育て情報等は一括のウェブサイト、アプリで完結すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 多児世帯への補助について</p> <p>(1) 合計特殊出生率改善のために、特に多児世帯への各種補助、税制面でのインセンティブの付与が重要だと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 仙台商圏との関わりについて</p> <p>(1) 仙台市の通勤、通学圏内である利点を生かし、交通定期代への補助を検討すべきと考えるが、所見を伺う</p>
6	18	横山悦子	<p>1 犯罪被害者等支援条例の制定について</p> <p>(1) 市民が頼る身近な組織である市が、見舞金を給付する制度や条例を制定することは、辛く悲しみの底へ落とされた市民にとって、最も寄り添う行政施策として重要に思う。犯罪被害者等支援条例の制定について伺う</p> <p>2 子宮頸がんワクチン接種について</p> <p>(1) 積極的勧奨の再開に当たり定期接種対象者及びキャッチアップ対象者への接種勧奨をいつどのように行ったか</p> <p>(2) 今年度直近までの接種率はどのようになっているか</p> <p>(3) 9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応、対象となる方への周知方法について伺う</p> <p>3 農林業系汚染廃棄物の処理状況について</p> <p>(1) 農林業系汚染廃棄物の焼却処理とすき込み処理の処理状況について伺う</p> <p>(2) 全体計画の7年間で予定通り処理は完了するのか</p> <p>4 市民福祉充実について</p> <p>(1) 男性トイレへのサンタリーボックスの設置について</p> <p>(2) 在宅で人工呼吸器を使用されている方に対する非常用電源の購入補助について</p>
7	20	只野直悦	<p>1 水害に強いまちづくりについて</p> <p>(1) 旧北上川分流施設の運用に係る本市の考え</p> <p>ア 7月豪雨における旧北上川分流施設の運用に対する検証状況の把握</p> <p>イ 旧北上川分流施設の効果的な運用に対する本市の考え</p> <p>(2) 田尻川の洪水調整について</p> <p>ア 7月豪雨における田尻川全体の被害状況の把握について</p> <p>イ 化女沼ダムの治水協定における事前放流の検証状</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
8	22	後藤錦信	<p>況の把握</p> <p>ウ 八反田放水路計画における本市の認識について</p> <p>エ 田尻川全体における流域治水の本市の考え</p> <p>2 教育環境の整備について</p> <p>(1) 校舎周辺の安全対策について</p> <p>ア 防犯灯やインターホンの設置について</p> <p>(2) 部活動の外部移行について</p> <p>ア 国や県の方針の認識と今後の部活動の在り方はどうなるのか</p> <p>イ 部活動の充実のために学校、指導者、保護者の理解と連携が重要と思うが、どう進めていくのか</p> <p>(3) 運動環境の整備について</p> <p>ア 幼、小中学校校庭の排水対策は万全か</p> <p>1 治水対策について</p> <p>(1) 鳴瀬川水系多田川ブロックの治水対策について</p> <p>ア 令和4年7月豪雨により大きな被害を受けた名蓋川の復旧に向けた現状についてどう把握しているか</p> <p>イ 令和版巧みな水管理システムを目指す流域治水への取組について</p> <p>ウ 田んぼダムや遊水地の取組について</p> <p>2 障がい福祉、障がい児童福祉の取組について</p> <p>(1) 障がい福祉、障がい児童福祉にも対応する地域包括ケアシステムの構築について</p> <p>(2) 障がい児支援の現状について</p>
9	10	鹿野良太	<p>1 子どもファーストの子育て支援について</p> <p>(1) 本市が展開する子育て支援主要事業に市民が物足りなさを感じる理由はなぜか、所見を伺う</p> <p>(2) 子どもファーストの視点が必要だと感じるが、所見を伺う</p> <p>(3) 子ども医療費の無償化が実現したが、今後の支援の方向性を伺う</p> <p>2 古川西小中学校開校に向けた整備状況について</p> <p>(1) 通学の安全確保は万全か伺う</p> <p>(2) 部活動で必要な施設整備は万全か伺う</p> <p>(3) 地域学校協働活動とPTA活動の見通しを伺う</p> <p>3 令和4年7月豪雨被害と河川整備について</p> <p>(1) 多田川流域の整備強化の方向性を伺う</p> <p>(2) 堤防市道の修繕及び除雪に向けた準備状況を伺う</p> <p>(3) 新渋川の越流、洗掘箇所における県の対応状況の把握と今後の整備の認識</p> <p>4 「宝の都（くに）・大崎」プレミアム電子商品券（パタPAY）の今後のシステム活用について</p> <p>(1) これまでの申込み及び販売状況、利用状況を伺う</p> <p>(2) 利用者の声、反応を伺う</p> <p>(3) 今後の事業検証とポイント連携などのシステム改善の方向性を伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
10	11	佐藤仁一郎	<p>5 デジタル戦略審議会の創設について</p> <p>(1) 絶え間ないデジタル変革を強力に推進し、外部の知見を取り入れるため、有識者やIT企業経営者等で構成するデジタル戦略審議会の創設を求めるが、所見を伺う</p> <p>1 度重なる水害から地域、農地、農作物をいかに守るか</p> <p>(1) 鳴瀬川支流の多田川に流域治水部会が設置されたが、具体的な取組内容をどのように把握しているか</p> <p>(2) 何度も水害に見舞われる名蓋川流域に治水対策の有識者検討会議が設置されたが、検討結果をどのように認識しているか</p> <p>(3) 管理が土地改良区に移管されている区域もある立堀、長堀川や高倉排水機場、三本木排水機場は内水氾濫の危険性が指摘され、改良工事の必要性が求められているが、その方向性の認識と本市の対応について</p> <p>(4) 上流域も含め全ての流域住民が取り組むことにより効果を生むとされる田んぼダム上流域の自治体も含め共通認識をどのように醸成するか、その方向性を伺う</p> <p>2 太陽光発電施設撤去時に係る費用の積立金の確認状況について</p> <p>(1) 宮城県の太陽光発電施設の設置等に関する条例が令和4年10月に施行された。その施行規則第4条第4項に「太陽光発電の撤去に伴い発生する廃棄物の処理に要する費用その他太陽光発電事業の廃止に要する費用を事業開始当初から計画的に積み立てる等の方法により確保すること」の記述があることを踏まえ、本市に設置している事業者等の現状を把握しているか</p> <p>(2) 適用対象施設は50キロワット以上とあるが、大崎市全体での設置箇所、各地域の施設数及び積立金等の対応状況を把握しているか</p> <p>3 ふるさと納税制度の促進について</p> <p>(1) 大崎市第6次集中改革プラン(案)、II No.18にふるさと納税制度の活用が示され、改善・推進目標としてふるさと納税に対する返礼品を充実することにより、ふるさと納税を促進し、本市の魅力の発信と交流人口の拡大を図るとともに、地域活性化のための自主財源の確保に努めるとの記述があることを踏まえ、以下について伺う</p> <p>ア 道の駅等にふるさと納税自動販売機の設置を提案するがいかがか</p> <p>イ 委託先のみやぎ大崎観光公社との連携について</p>	
11	12	八木吉夫	<p>1 廃熱温水を活用した農林振興策について</p> <p>(1) これまでごみ処理施設の廃熱温水を活用した農業振興策、施設園芸団地の構築等を提案してきたが、その</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
12	9	伊勢健一	<p>後の検討状況を伺う</p> <p>2 浸水被害対策について</p> <p>(1) 古川李埜地区の雨水排水処理に係る下水道事業の工事スケジュールについて伺う。併せて、福沼地区へのバーチカルポンプ方式による排水施設、地下貯留施設設置の検討状況を伺う</p> <p>3 入札制度の在り方について</p> <p>(1) 入札は適正に行われているか。また、物品調達における契約保証金の必要性について伺う</p> <p>4 経済再生について</p> <p>(1) ウクライナ侵攻を起因とする光熱費の増大、コロナ禍での経済悪化を捉え、対策を講じてはいるが、なかなか結果が見えてこない。さらなる支援策が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>5 子育て支援について</p> <p>(1) 18歳まで医療費補助を実行し好評を得ているが、厳しくなる生活環境下で、今後、どのような子育て支援を行っていくのか所見を伺う</p> <p>1 地域活性化について</p> <p>(1) 田尻地域の加護坊温泉さくらの湯でのサウナを通じた地域活性化策の現況について、観光振興の観点からどのように把握しているか</p> <p>(2) サウナを通じたまちおこしを進める考えについて</p> <p>2 教育について</p> <p>(1) 中学校部活動の地域移行に向けた取組について、所見を伺う</p> <p>(2) 令和2年4月に策定された大崎市スポーツ推進計画において、スポーツ少年団活動の推進とあるが、具体的推進策の現状は</p> <p>(3) 同計画において、総合型地域スポーツクラブの運営を通じてスポーツ人口の底辺拡大とあるが、その具体的方策は</p> <p>(4) 小中学校における道徳教育の現状と今後の展開について</p> <p>3 公共交通について</p> <p>(1) 高校生等の通学手段としての陸羽東線の重要性について所見を伺う</p> <p>(2) 古川地域の清滝・宮沢地域内公共交通「ほたる号」の本格運行後の現状と今後の展開について</p>	
13	3	小玉仁志	<p>1 スポーツ振興策の現状と対策について</p> <p>(1) 第2次大崎市総合計画後期基本計画第3章第4節の取組について</p> <p>ア 施策内容の具体的な進捗について（実現に向けての主な取り組み2，4，5，6）</p> <p>イ 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革への対策について</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
14	4	山田匡身	<ul style="list-style-type: none"> ウ 持続可能かつスポーツ振興策に寄与した小学校跡地，体育施設の利用策について 2 公園及び緑地の管理の現状並びに整備状況について <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2次大崎市総合計画後期基本計画第6章第2節の取組について <ul style="list-style-type: none"> ア 都市公園における年間利用者数及び市民ニーズの把握について イ 公園緑地等整備事業における満足度向上策について ウ カウンターパートとの協働の必要性について 1 未来を託す青少年支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 奨学金返還支援事業創設の考えについて 2 出産・子育て支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 出産・子育て応援交付金を活用した事業の検討状況について 3 ふるさと納税の推進について <ul style="list-style-type: none"> (1) ふるさと納税制度の充実（返礼品，ポータルサイト等），創意工夫の考えについて 4 都市計画税の在り方について <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域住民から都市計画税課税の地域間差による不公平感や使途の不透明感について指摘されているが，都市計画税の在り方の検討状況について 5 新庁舎供用開始後の庁内連携の在り方と業務効率化について <ul style="list-style-type: none"> (1) 各部署が集約されることにより，部署間における連携強化による縦割り行政の解消，会議出席のための移動時間がなくなること等により業務の効率化が図られることに期待するが，所見を伺う
15	17	木村和彦	<ul style="list-style-type: none"> 1 市有財産の処分について <ul style="list-style-type: none"> (1) 統合後の小中学校の在り方，払下げの基準，考え方 (2) 圃場整備により，使用頻度の少ないため池の管理や遊休地の払下げの考え方 2 保育所の民営化について <ul style="list-style-type: none"> (1) 保育施設の民営化の方向性について (2) 計画の策定が完了とあるが，実施に向けた政策推進について 3 国道4号拡幅について <ul style="list-style-type: none"> (1) 荒谷バイパスの今後の整備計画の認識について (2) 住民説明会や周知方法の把握について (3) 工業団地とのアクセスについて
16	23	氏家善男	<ul style="list-style-type: none"> 1 汚泥リン回収施設の誘致について <ul style="list-style-type: none"> (1) 国土交通省では国産肥料の供給力を高めるため，下水道汚泥から肥料の原料となるリンを回収する実証実験を行う自治体を来年1月より公募する。国では全国に普及することにより，必要量の1割を確保したい

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>としている。設備費や運営費は全額国費負担だが、現下の肥料価格の上昇や世界的な供給のバランスが不安定な中であって公募に手を挙げてはと思うが、所見を伺う</p> <p>2 農業政策について</p> <p>(1) 飼料の高騰を受け転作による子実用トウモロコシ栽培実証実験に期待がかかる。その成果と課題について伺う。また、次年度に向けた拡大への見通しを伺う</p> <p>(2) 飼料用米の品種について農水省が補助対象を専用種のみとすることを検討していることについて種もみの確保において難点があり、また米の需給調整に融通が効かない。市の考えを伺う</p> <p>3 ジビエ振興施設の運営について</p> <p>(1) 旧真山小学校の跡地利用としての施設が明年稼働する。この施設の運営の検討状況について伺う</p> <p>(2) ジビエ普及の見通し、理解を深めるための啓蒙活動について</p> <p>4 岩出山いこいの森の遊具について</p> <p>(1) いこいの森の遊具が老朽化により使用不能となっている。子どもが多く利用する施設であり施設と遊具は一体であるので早急な整備を望むものであるが、対応を伺う</p>
17	24	木内知子	<p>1 姥ヶ沢等内水被害防止対策について</p> <p>(1) 抜本的解決策を見据えた短期、中期、長期計画について</p> <p>2 不登校対策について</p> <p>(1) 不登校児童生徒への経験豊富な教諭の配置による支援体制の強化について</p> <p>3 補聴器購入助成について</p> <p>(1) 認知症予防、孤立防止、生きがい対策として取り組むことについて</p> <p>4 水道料金等について</p> <p>(1) 県水料金引下げの申入れについて</p> <p>(2) 県が進める広域化計画への姿勢について</p>
18	13	佐藤弘樹	<p>1 生活弱者対策について</p> <p>(1) 年々生活に不安を抱え、景気や社会情勢による離職等で明日の生活にも困っている市民が増えている。自立相談支援センターひありんくをはじめ、関係機関の連携や相談体制はどうか</p> <p>2 動物飼育対策について</p> <p>(1) 昨今、市内においても犬、猫の飼育放棄、多頭飼育崩壊、動物への餌やり等が問題となっている。適切な飼育に努めるための情報提供や支援策への考えは</p> <p>3 イベント支援について</p> <p>(1) 新型コロナ禍における地域活性化支援策として、本年度に活用されている地域活力再生イベント支援事</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
19	14	中鉢和三郎	<p>業同様の取組を来年度も継続すべきと思うが考えは</p> <p>4 学芸員配備について</p> <p>(1) 鎌田記念ホール鎌田三之助展示室には、子どもたちの社会科見学をはじめ多くの一般来場者が訪れ、地元団体の厚意で展示品や歴史の説明をされている現状であるが、学芸員を配備する考えは</p> <p>5 文化、教育施設整備について</p> <p>(1) 鹿島台学童農園は、児童生徒の勤労体験学習施設であるとともに各種団体やグループの研修の場として利用されているが、宿泊棟、設備、備品等が老朽化し早期改修が望まれている。今後の改修見通しと活用策の考えは</p> <p>(2) 大崎市民会館は、1966年の竣工以来築55年が経過し、外壁、内装、設備等が甚だ老朽化しているため、各種催事利用において支障を来している。今後の整備計画や市民会館の在り方への考えは</p> <p>1 不登校特例校の設置について</p> <p>(1) 本市の小中学校における不登校児童生徒は、令和2年度で小学校75人、中学校191人とこのことであり少ない人数である。</p> <p>別室登校、けやき教室、みやぎ子どもの心のケアハウス及びフリースクールなど、様々な場所で子どもたちの居場所づくりが進められているが、それらの場所につながっていない子どもたちもまだまだ多いと聞く。受け皿が足りない状況である。</p> <p>そこで、本市においても不登校特例校を設置し、学校に登校できない子どもたちに多様な学びの場を提供すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>2 ゼロカーボンシティに向けた取組について</p> <p>(1) 令和4年11月12日、おおさき環境フェア2022で大崎市ゼロカーボンシティ宣言が行われた。</p> <p>これまでも何度となく、議場でその覚悟を問われてきたものであり、宣言を発出したことに一定の評価をするものである。</p> <p>しかし、唐突ともいえる宣言発出であり、ゼロカーボンに向けた取組について、市民はもとより議会に対しても説明が十分とは言えない状態である。</p> <p>2050年時点の二酸化炭素排出量について、市民、市内事業者及び市外の関係団体等を巻き込み、いかにして実質ゼロを達成するのか容易なことではないと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 日本こけし館のトイレの洋式化について</p> <p>(1) この間、行政庁舎、学校施設、社会教育施設、社会体育施設及び観光施設等のトイレの洋式化が鋭意進められてきた。</p> <p>一般の住宅では、新築はほぼ100%洋式トイレが設置され、既存の住宅においてもかなりの割合で洋式化</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
20	7	石田政博	<p>されている。総務省の統計では、洋式トイレのある住宅の割合（洋式トイレ保有率）は、89.6%（平成20年時点）となっており、公共施設や観光施設のトイレも洋式化が喫緊の課題となっている。</p> <p>しかし、鳴子温泉地域の日本こけし館のトイレは、依然として和式のままである。</p> <p>ウイズコロナ、アフターコロナの観光振興を考える上で、教育旅行の再開は、観光戦略上、重要な取組だが、和式トイレは、教育旅行の児童生徒を迎えるに当たり、大きな障害となっている。（下見に来館した先生等から苦情の声が寄せられている）</p> <p>そこで、日本こけし館のトイレがなぜ洋式化されないのかその理由を伺う。また、洋式化に向けた具体の計画について伺う</p> <p>1 地域自治組織の課題解決とこれからの官民協働について</p> <p>(1) 担い手不足、マンネリ化の課題を前回共有したところだが、年度替わりまで3か月となり地域自治組織としても次年度の計画策定に取り組む時期と思われるため、現時点での大崎市の支援策の考え方や、方向性を中間案でも構わないので提示し意見を求めてはどうか</p> <p>2 陸羽東線利活用と公設日本語学校誘致について</p> <p>(1) 公設日本語学校を岩出山地域の駅近隣にある閉校した小学校3校のいずれかに誘致することで、岩出山高校等と日本語学校との連携、交流も期待でき、教育の向上と陸羽東線の利用の増にもつながると考えるが、岩出山地域への誘致について課題を含めた所見を伺う</p> <p>3 飼い主のいない猫による問題と動物愛護について</p> <p>(1) 地域の民生委員や、近所の方から野良猫の鳴き声が夜間にうるさい、敷地内で糞尿をされて困っているなどの相談が増えている。現状の大崎市の取組について伺う</p> <p>(2) 10月23日には吉野作造記念館で民間団体主催の譲渡会、飼い方指導などの催しがあり、貴重な機会と感じた。今回は後援として大崎市や保健所の協力もあったようだが、今後とも協力していかなければならない課題と思う。</p> <p>コロナ禍で催しは厳しい状況であるが、広報、周知の強化の考えについて伺う。</p>	
21	6	法華栄喜	<p>1 GIGAスクール構想と教員の働き方改革について</p> <p>(1) 各小中学校でのタブレット等の活用状況について</p> <p>ア 共通のガイドラインに基づいて活用されているか</p> <p>イ タブレットの持ち帰りや家庭学習について</p> <p>ウ オンライン教育の現状と課題について</p>	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
22	2	小嶋匡晴	<p>(2) 教員（情報担当）の負担軽減のため教育委員会にICT支援室を整備し、GIGAスクールサポーターとして各学校の支援をするべきではないか</p> <p>2 市道下伊場野山王線の進捗と避難経路について</p> <p>(1) 現段階での進捗状況について</p> <p>(2) 山王側の旧道と新設道はどのように接続するのか</p> <p>(3) 新しい市道は令和4年7月豪雨で60センチ位山王側の接続道は冠水し、山沿いの花ヶ崎地区が数日間孤立したが、防災や避難路としての見解はどうか</p>
23	8	早坂 憂	<p>1 発達障がい児に対する支援について</p> <p>(1) 大崎市における発達障がい児の現状について</p> <p>(2) 大崎市の発達障がい児に対する支援と取組について</p> <p>(3) 厚生労働省、文部科学省が通知している「切れ目のない支援」への対応について</p> <p>(4) 令和5年4月に創設される予定のこども家庭庁と宮城県との連携について</p> <p>(5) 大崎市における今後の支援体制について</p>
			<p>1 活気でコロナ禍を吹き飛ばせ！イベント開催による大崎市の関係人口増加策について</p> <p>(1) マルシェの街大崎への取組について</p> <p>ア 旧1市6町全てでマルシェイベントを開催することについて、現状も踏まえて伺う</p> <p>イ 現在コロナ禍で飲食を伴わずに屋外で開催されるマルシェイベントの人気の高い。このことから現在既に開催されているマルシェイベントについては継続の支援を、これから新たに立ち上げるイベントについては立ち上げの支援をするべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>ウ マルシェイベントを通じた姉妹都市との物産交流について</p> <p>エ 湯けむりマルシェの総括について</p> <p>(2) ささ結の生産量拡大と販売促進、消費拡大策について、さらに新たなお米消費につながるイベントの開催について</p> <p>ア ささ王決定戦2022の総括について</p> <p>イ 今年度のささ結の生産目標量と実際の生産量について</p> <p>ウ 今後の生産量拡大に向けた取組について</p> <p>エ ささ結を生産する農家が受ける恩恵（メリット）について</p> <p>オ 「さチャ王決定戦」（仮）の開催について</p>